

# 工作機械工業 収益状況集計

## (2021年度 第2四半期)

会員企業のうち2021年11月迄に2021年度第2四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業15社を集計。集計調査対象企業における専業比率は82.6%。なお、今期は専業比率が30%以下の1社を対象外とし、前年度から1社減の15社で集計した。

### 1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要(15社)

(単位：百万円・%)

	21年度	21年度	21年度	前年同期比	20年度
	I期	II期	I～II期		I～II期
売上高	148,452	168,811	317,263	+29.7	244,525
売上総利益	40,754	49,547	90,301	+42.7	63,297
売上総利益率	27.5	29.4	28.5		25.9
営業利益	5,648	12,458	18,106	—	△712
営業利益率	3.8	7.4	5.7		△0.3
経常利益	8,117	13,551	21,668	+2,326.4	893
経常利益率	5.5	8.0	6.8		0.4
当期利益	5,338	9,470	14,808	—	△2,807
当期利益率	3.6	5.6	4.7		△1.1
総資産	1,023,541	1,048,228	1,048,228	+9.8	954,959
純資産	615,420	641,159	641,159	+9.7	584,533
自己資本比率	60.1	61.2	61.2		61.2
自己資本 当期純利益率 (ROE)	3.5	5.9	4.6		△1.0

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I～II期計・前年同期比) (15社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	13	2	15
売上総利益	13	2	15
営業利益	13 (2)	2 (0)	15 (2)
経常利益	13 (2)	2 (0)	15 (2)
当期利益	13 (2)	2 (0)	15 (2)

※( )内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

## 2. 2021年度通期見通しの概要

**表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要（15社）**

（単位：百万円・％）

	2021年度通期見通し			2020年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	659,279	687,263	+27.6	538,448
営業利益	37,660	44,757	+378.9	9,345
営業利益率	5.7	6.5		1.7
経常利益	39,569	48,208	+240.0	14,179
経常利益率	6.0	7.0		2.6
当期利益	26,564	34,142	+671.0	4,428
当期利益率	4.0	5.0		0.8

**表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（15社）**

通期 (対前年度比)	増収増益	11社 (1社増)	増収減益	3社 (1社増)
		減収増益	0社 (増減なし)	減収減益

◎第1四半期時点からの修正理由

**【売上高、経常利益とも上方修正 …9社】**

- 依然として世界的な新型コロナウイルス感染症拡大や半導体供給不足等のサプライチェーンを通じた影響はあるものの、足元では海外を中心に工作機械関連の受注環境が改善していること、特装車両において路面清掃車の受注が想定を上回って推移していること等により、売上高・営業利益ともに前回予想を上回る見通し。
- 第2四半期の利益について、為替レートが円安で推移したことと、費用の発生が想定以下であったため、予想と実績との差異が生じた。通期の業績予想は、第2四半期の業績を踏まえて売上、利益ともに修正。
- 通期の業績予想は、第2四半期の受注・売上状況、業績、及び今後の為替レート、工作機械需要の先行き見通しなどを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回予想を上回る予想とした。
- 第2四半期連結累計期間の業績は、産業機械事業のゲート市場およびサービスメンテナンスが堅調であり、さらに精密機械事業の放電加工機の中国向け輸出が好調に推移した結果、売上高は業績予想及び前年同期を上回る見込みとなった。また、各利益については、売上高の増加や搬送機械事業・産業機械事業・精密機械事業の全てのセグメントにおいて、コストダウン、経費の削減が進んだことにより、前年同期及び業績予想を上回る見通し。通期の業績予想については、第3四半期以降も需要は堅調に推移するものと見込まれるが、資材費の高騰や諸外国の経済状況など不確定な要素を勘案し算出。
- 通期の業績予想は、中華圏での自動車、電子部品、5G、半導体分野向けの放電加工機の需要が高水準で推移しているのに加え、欧米での持ち直しの動きも継続したことにより、売上高は当初の会社予想を上回る見込み。また、利益面についても、売上高の増加に加え、生産台数の増加に伴い工場の収益性が改善したことにより、各利益とも前回発表の想定を上回る見込み。修正予想の前提となる下期の主な為替レートは、1ドル108円、1ユーロ128円を想定。

- 通期の業績予想については、特機事業、工作機械事業ともに高水準の需要が続いているものの、部材の調達状況やコロナ禍における物流の遅延等、先行き不透明な要素があることから、現時点では前回予想に第2四半期累計期間の実績値を反映した予想値とした。
- 通期業績予想について、受注状況の回復を受け、当初の業績予想を上回る見込みとなったことから修正。
- 新型コロナウイルス感染症の影響から、経済環境は依然として先行き不透明な状況にあるが、政府の経済対策、ワクチン接種の進展及び経済活動の再開等によって、緩やかに持ち直しの動きが見られる。当社グループの主力事業である工作機械業界では、日本工作機械工業会が2021年の年間受注見通しを1兆2,000億円から1兆4,500億円に引き上げるなど、需要回復基調の継続が見込まれており、当社グループにおいても、下期において引き続き売上が回復し、前回予想を上回る見通し。利益においては、原材料価格の高騰等によるコスト増加を見込んでいるが、売上高の回復見通しに加え、経費圧縮施策の継続等から、前回予想を上回る見通し。
- 第2四半期連結累計期間の業績については、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるが、景気持ち直しの動きがみられ、前回予想より売上高が好転し、販売価格の低下に加え、原材料価格の高騰、輸送コスト上昇等の影響もあったが、各段階利益とも前回予想数値を上回る結果となった。また、下半期においては、売上高が上半期を上回る予想としているものの、上半期からの継続したコスト上昇を見込んでいるため、各段階利益については、前回予想に対して若干上回るにとどまるものと予想。

#### **【売上高、経常利益とも下方修正 …2社】**

- 部品加工関連事業については、客先の減産影響により前回発表予想に対して通期減収減益を見込む。工作機械関連事業については、新型コロナウイルスの影響によりアセアンで今期販売を予定していた案件が来期へずれ込む見通しとなったため、前回発表予想減収、赤字幅の拡大を見込む。
- 第2四半期連結累計期間の見通しについては、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展等により需要の回復が進んだことで、当社においても受注が回復傾向にあったことから業績予想を公表していたが、第2四半期までに売上計上予定であった案件の一部が第3四半期以降の計上となったことから、売上高は期初計画を下回る見込みとなった。また、売上高の減少に伴い利益面についても期初計画を下回る見込み。通期の見通しについては、第3四半期以降も、上記売上計上の遅れの影響を受けると考えられることから、期初計画を下回る見込み。

### 3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (15社)

(単位:百万円・%)

	21年度		20年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	262,163	+33.7	196,021
営業利益	15,401	—	△1,031
営業利益率	5.9		△0.5
専業比率	82.6		80.2

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (25社)

(単位:百万円・%)

	21年度		20年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	370,739	+30.7	283,753
営業利益	24,249	+5,081.4	468
営業利益率	6.5		0.2
専業比率	31.3		26.0

※表5の対象企業15社に加え、セグメント情報を公表している  
専業比率30%以下の会員企業10社を加えた25社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社  
 浜井産業株式会社  
 豊和工業株式会社  
 小池酸素工業株式会社  
 株式会社牧野フライス製作所  
 株式会社岡本工作機械製作所  
 OKK株式会社  
 オークマ株式会社  
 西部電機株式会社  
 株式会社ソディック  
 スター精密株式会社  
 株式会社太陽工機  
 高松機械工業株式会社  
 株式会社滝澤鉄工所  
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)  
 株式会社FUJI  
 株式会社不二越  
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)  
 黒田精工株式会社  
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)  
 株式会社三井ハイテック  
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)  
 株式会社桜井製作所  
 芝浦機械株式会社